



石巻市
博物館
ISHINOMAKI
CITY MUSEUM

第8回企画展

牡鹿柵、桃生城と海道の蝦夷の反乱

おしかのさく

えみし

陸奥国言さく、

海道の蝦夷、

忽ちに徒衆を発して、

橋を焚き道を塞ぎて、

既に往来を絶つ。

桃生城侵して、

其の西郭を敗る。

『続日本紀』宝龜五年七月条

神龜元年から1300年、
宝龜五年から1250年

2024
6/1(土) ▶ 7/21(日)

9:00—17:00

(最終入館 16:30 月曜日休館 祝日の場合は翌日)

石巻市博物館企画展示室

一般 600円 高校生 300円 小中学生 200円

※上記料金で常設展も観覧できます。 ※20名以上の団体は2割引

【主催】石巻市博物館

【監修】東北学院大学文学部非常勤講師・同大学博物館学芸員 佐藤敏幸氏

【後援】tbc東北放送、ミヤテレビ、KHB 東日本放送、仙台放送、NHK 仙台放送局、河北新報社、三陸河北新報社(石巻かほく)、
石巻日日新聞社、ラジオ石巻FM76.4、一般社団法人石巻観光協会、一般社団法人石巻観光推進機構

問合せ: 〒986-0032 宮城県石巻市開成1-8 (マルホンまきあーとテラス内) 石巻市博物館 学芸係
TEL 0225-98-4831 <https://makiart.jp/museum/>



牡鹿柵、桃生城と海道の蝦夷の反乱

神亀元年から1300年、宝亀五年から1250年

畿内にあったヤマト王権は、7世紀に大陸の隋、唐の大帝国と国交を再開するとともに、大陸の思想・法制度を受容し国力を固めようとします。645年に起こった乙巳の変を経て天皇を中心とする国を目指し、版図(国の範囲)の確定、法制度の確立を進めていきます。7世紀末以降、宮都の造営、律令の整備が行われていきました。

古代の石巻地方は牡鹿郡(後に桃生郡を分郡)に所属し、律令国家の東北辺に位置しました。当時の石巻地方は蝦夷との境界にあたります。

飛鳥時代の国家範囲は宮城県南部を流れる阿武隈川以南の地域で、仙台平野以北は蝦夷の地とされていました。国家は蝦夷の地を掌握するため城柵と呼ばれる複数の軍事・行政の拠点を築き、国内から柵戸と呼ばれる多数の移民を送り込みます。

国家が版図を拡大する過程で在地の蝦夷は時には抵抗しました。陸奥海道地方と呼ばれた古代の石巻地方では神亀元年(724)3月、宝亀5年(774)7月に蝦夷が反乱したことが正史『続日本紀』に記載されています。

令和6(2024)年は神亀元年から数えて1300年、宝亀5年から数えて1250年にあたります。本企画展は、当地方で起こった二つの蝦夷の反乱にスポットを当て、律令国家の政策と蝦夷の反乱の背景を紐解きます。



桃生城
SB16 東脇殿柱痕跡
(提供: 宮城県多賀城跡調査研究所)



桃生城
軒平瓦・軒丸瓦
(所蔵: 宮城県多賀城跡調査研究所)



赤井遺跡
関東系土師器群
(所蔵: 東松島市教育委員会)



赤井遺跡
「上郷」墨書土器
(所蔵: 東松島市教育委員会)

赤井遺跡
海道二番 木簡
(所蔵: 東松島市教育委員会)

関連企画

講演会①

「古代牡鹿郡の成立と神亀元年海道蝦夷の反乱」

講師 佐藤 敏幸氏(監修者・東北学院大学文学部非常勤講師・同大学博物館学芸員)

6/2 日 13:30~15:00
マルホンまきあーとテラス 小ホール

予約
不要

参加
無料

定員
300名

講演会②

「桃生城造営と宝亀五年の桃生城襲撃」

講師 永田 英明氏(東北学院大学文学部歴史学科 教授)

7/7 日 13:30~15:00
マルホンまきあーとテラス 小ホール

予約
不要

参加
無料

定員
300名

アクセス方法

■ 公共交通をご利用の場合

- 仙台駅→石巻駅 電車 JR仙石東北ライン 仙台駅1~6番ホームから乗車で約60分
JR仙石線 仙台駅9~10番ホームから乗車で約85分
- 石巻駅→マルホンまきあーとテラス
タクシー 石巻駅前タクシー乗り場から乗車で約10分
路線バス 石巻駅前1番乗り場から石巻専修大学線に乗車で13分
総合運動公園(石巻)下車 徒歩約2分

■ お車で越しの場合

三陸自動車道 石巻女川ICより約5分 駐車場無料(347台)

